

# 3章 授業以外の補充指導の実践事例

## ◆研究

### 【補充指導】の実践イメージ

①朝学習：ベーシックタイム(15分)におけるデジタルドリルの活用法

②土曜授業：パワーアップタイム(45分)におけるデジタルドリルの活用法

※そもそも補充指導の目的は何か？

「基礎・基本的な力を定着させ、発展的な力を育むこと」

=全員に出す「共通課題」と本人の意欲や学習状況に応じて進める「自主課題」から構成される。

※アナログ(プリント等)学習とデジタル(デジタルドリル)学習の比重は？

※学年の発達段階で使い分けた方がベターか？

※定着場面、問題練習場面で使い分け方があるのか？

# アナログとデジタルを組み合わせた補充指導



**【朝学習】ベーシックタイム**(火曜日、木曜日毎週 15分)

15分×35週×2曜日=1050分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着)

## 【補充指導におけるアナログとデジタルの使い分け方について検証】



**【土曜授業日】パワーアップタイム**(毎月1回1校時 45分)

45分×10月=450分/年(漢字の読み書き・計算問題等の定着確認や習熟を図る)

**土曜授業の学力補充指導での複数体制(担任、指導方法改善、理専、音専、教頭)による指導**



# タブレット端末・デジタルドリルの活用法(例)

## 授業と家庭学習と補充指導での組み合わせ方

授業

【漢字指導】



家庭学習

【家庭学習ノート】

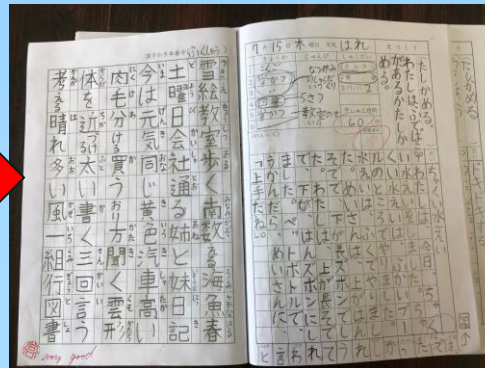


朝学習

【確かめテスト】



授業や補充指導の時間でのタブレット端末の活用の可能性を検討



# 【子ども・教科・学級レベル】学習課題の重点の置き方

子ども・各教科・学級・学校全体の平均通過率(上位層:平均以上、中位層:平均並、下位層:平均以下)に応じた学習課題の与え方は？

| 課題の種類<br>階層              | 【基礎・基本】<br>読み・書き・計算等の<br>知識, 理解, 技能等<br>A問題(主に知識) | 【応用力, 活用力】<br>自ら考える力<br>思考・判断・表現<br>B問題(主に活用) | 【その他】<br>家庭・地域との連携<br>学校の教育環境等                        |
|--------------------------|---|---|---|
| 上位層<br>子ども・<br>教科・<br>学級 | ○   | ◎<br>重点                                       | ◎ノーメディアタイム、早寝<br>早起き朝ごはん<br>◎うち読<br>◎家庭学習ノートの有効<br>活用 |
| 中位層<br>子ども・<br>教科・<br>学級 | ◎<br>重点   | ○   | ◎スポ少、地域スポ、習い<br>事との両立<br>※家庭学習の課題も個<br>に応じて与える。       |
| 下位層<br>子ども・<br>教科・<br>学級 | ◎<br>重点   | ※どれだけ個別最適<br>化された学習課題を<br>与えられるか。             | ・共通課題:基礎問題<br>・個別課題:応用問題<br>自主課題<br>※デジタルドリルの活用       |

# 2022年度実践

## 【補充指導編】

TT指導や少人数指導との組み合わせ  
家庭学習ノートとの組み合わせ など

## デジタルドリルの活用

- ◆朝学習「ベーシックタイム」(火・木15分)
- ◆土曜授業「パワーアップタイム」(45分)



# 【職員研修】デジタルドリルの実技研修を行いました

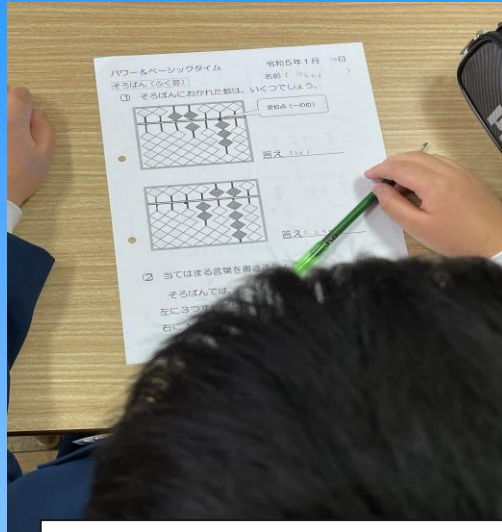
2022年05月27日



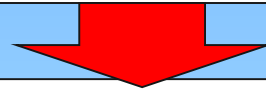
5月23日(月)放課後に職員研修において**デジタルドリル「タブレットドリル」**の実技研修を全教員で行いました。本校は昨年度3学期から試行的にデジタルドリルを活用し始めていましたが、新しい職員も加わったので全教員が操作や指導が行えるように今回、実技研修を行いました。今後は、授業の終末部分での活用や朝学習「ベーシックタイム」(15分)、土曜授業日「パワーアップタイム」(45分)でどのような活用方法が効果的なのかを検証していきます。



# 【補充指導の基本的な進め方】



【課題プリント】→再度基礎基本の定着化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



→【担任による個別指導】一人一人の学習状況を把握の上、個別指導を行う





# 【補充指導】朝学習「ベーシックタイム」の様子

2022年06月02日



## 【補充指導におけるアナログとデジタルの使い分け方に係る仮説】

① 知識を覚えたり、深く考えたりする力を育てるとき → アナログの漢字帳や読解力課題プリント等の紙で取り組ませることが効果的

② 学力が定着しているかの確認・見届けやさらなる習熟を図るとき → デジタルドリルなどの教材を活用することが効果的で効率的

③ 補充指導の目的を①②のどちらに重きを置くか？その目的を見極めて、使い分けられる力を教師は養うことが重要



# 【朝学習】基礎基本の定着と習熟を図る「ベーシックタイム」

2022年06月14日

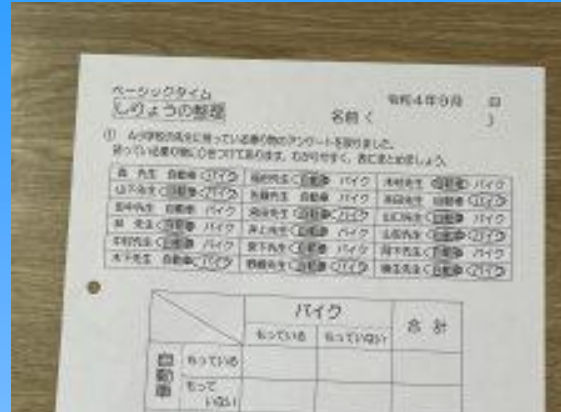
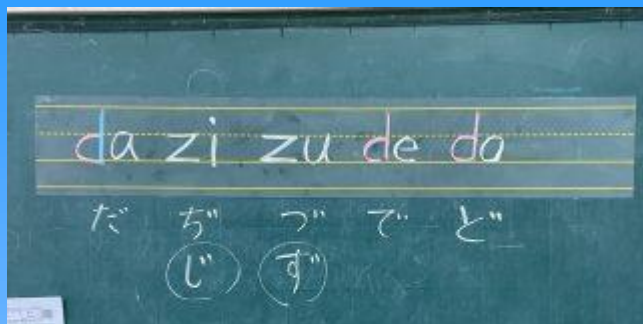


**学習の目的が基礎基本の定着の場合**は、手書きの家庭学習ノートを始めとして漢字帳や計算プリントなどのプリント・紙(アナログ)を活用しています。  
**学習の定着度や習熟を図る場合**は、デジタルドリルなどのICT機器を有効に活用して取り組んでいます。



# 【朝学習】基礎基本を身に付ける「ベーシックタイム」

2022年09月27日



朝学習「ベーシックタイム」(8:25~8:40、15分間)の各学級の取組の様子を取材しました。ローマ字の書き方を学習する学級、漢字の書き取り・使い方を学習している学級、百ます計算表で九九の習熟を図っている学級、ある数の倍数や約数をプリントにまとめている学級、タブレット端末でローマ字入力の練習をしている学級など様々です。学級の児童の実態を最もよく把握している担任が意図的・計画的に判断して課題を与えています。子どもの発達や身に付けたい学習内容に応じて教師はその使い分けを工夫しながら学力向上を目指しています。



# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 3年生(デジタルドリル設定と使い方のオリエンテーション)

2022年05月14日



5月13日(金)2校時に3年2組では今年度から新しく導入した**デジタルドリル:教材名「タブレットドリル」の設定作業**をしました。子どもの学習状況や進捗状況を容易に把握でき、補充的・発展的な学習を行う場面で、個別の学習支援を行いやすい教材です。また、子ども自身がスムーズに解けた得意な問題やつまずきのあった苦手な問題を把握し、学習指導の改善につなげることも期待できます。

# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 4年生（少人数指導＋デジタルドリル） 2022年05月14日



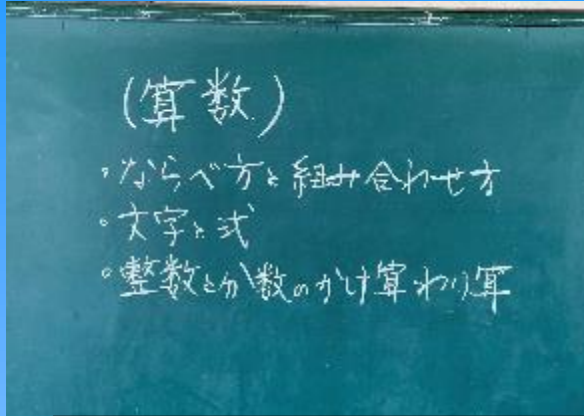
5月14日（土）1校時に4年1組では、算数科の少人数指導が行われました。少人数による指導により、きめ細やかな指導を行うことができます。

今後は、この少人数指導に今年度から新しく導入したデジタルドリル：教材名「タブレットドリル」を組み合わせた更にきめ細やかな学習指導が行えるようにしていこうと考えています。子どもの学習状況や進捗状況を容易に把握でき、補充的・発展的な学習を行う場面で、個別の学習支援を行いやすくできる教材です。また、子ども自身がスムーズに解けた得意な問題やつまずきのあった苦手な問題を把握し、学習の改善につなげる活用も期待できます。

※「**少人数指導＋デジタルドリル**」の効果を検証



# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 6の2( TT指導+デジタルドリル活用) 2022年05月14日



【デジタルドリル】定着の確認・習熟→1単元3段階(10分×3段階)の使い方

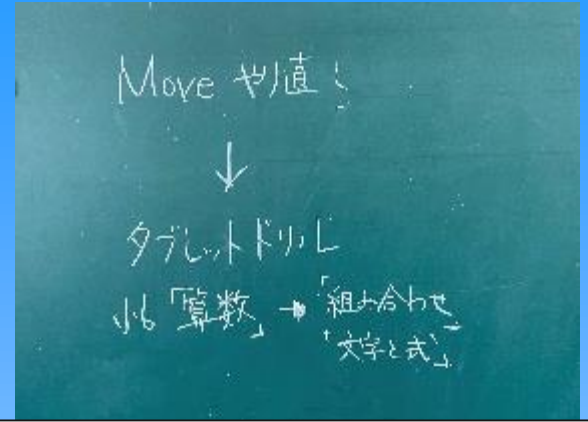
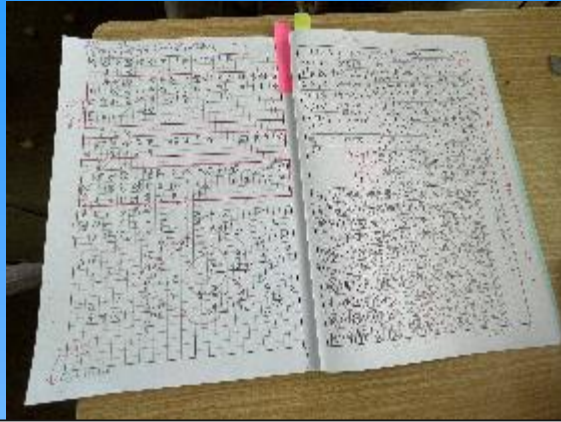
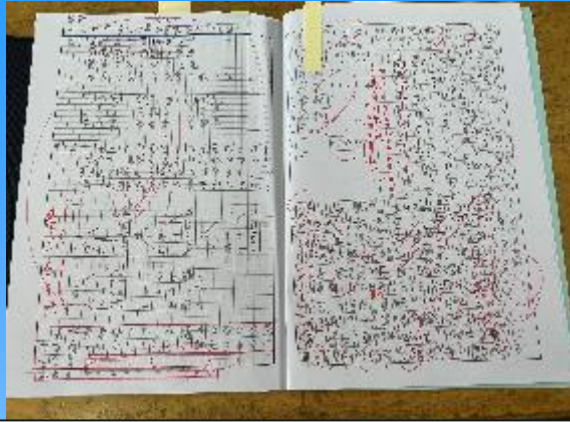


5月14日(土)の1校時に6年2組では、算数科でタブレットドリルで**取り組む単元**を子どもたち自身に**選択させてデジタルドリルに取り組むパターン**が行われていました。自分の苦手なところに**チャレンジ**できる取組です。2人の教師がTTで個別指導にも取り組んでいます。

※「**TT指導+デジタルドリル**」の効果を検証



# 【土曜授業】5月土曜授業日の「パワーアップタイム」 6の3(家庭学習ノート→デジタルドリル) 2022年05月14日



【家庭学習ノート】基礎基本の定着・習慣化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟



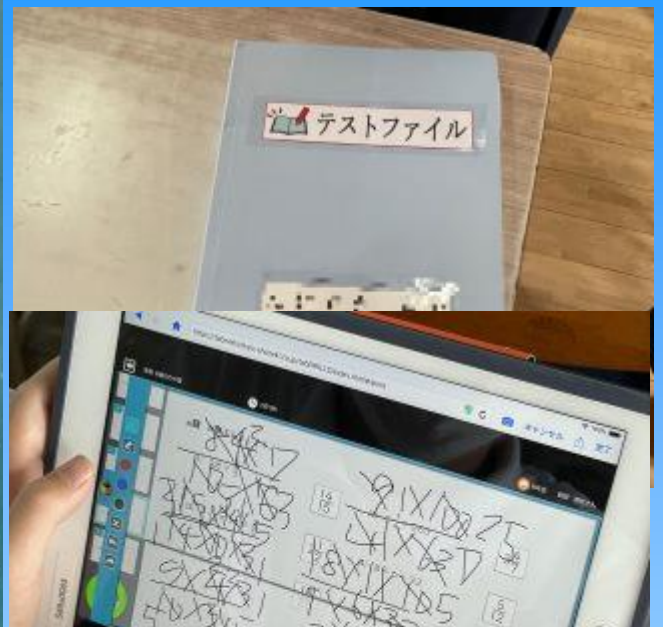
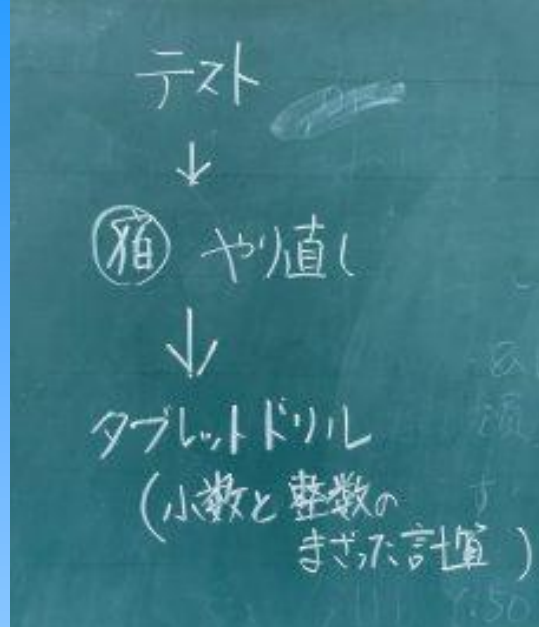
5月14日(土)の1校時に6年3組では、家庭学習ノートを返却した後にデジタルドリルを活用した補充指導を行いました。教師による家庭学習ノートへのきめ細やかな添削指導・やり直しを行った上でデジタルドリルに進む流れ・パターンの効果を検証しています。

**※家庭学習ノートで基礎基本の定着→学校での補充指導：デジタルドリルで定着の確認、習熟を図る展開・流れ**



# 【土曜授業】7月土曜授業日の「パワーアップタイム」 学期末時期の活用方法

2022年07月09日



**【テスト結果】→再度基礎基本の定着化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟**

7月9日(土)1校時は補充指導「パワーアップタイム」の時間です。各学年・学級では、それぞれの学習状況に応じて、テストプリントの間違い直しや課題プリントでの定着指導、デジタルドリルを活用した習熟指導など様々に行われていました。

本校では、アナログによる学習指導とデジタルによる学習指導を学習目的に応じて適切に使い分けながら子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるようにしています。

**※基礎基本の定着、高度な思考→アナログ(紙)学習**

**※定着しているか確認、習熟を図る→デジタルによる学習**

# 【土曜授業】9月土曜授業日の「パワーアップタイム」 2022年09月10日



学級担任が児童の実態に合わせて基礎基本をしっかりと定着させる場面では、手書きで何回も書いたり、声に出したりして覚えるようにしています。子どもの脳に記憶させるためには手書きして覚えることが効果的だと言われています。いわゆるアナログ型の学習です。

一方、学習内容が定着しているかを確認したり、習熟を図ったりするときは、問題練習のプリントやデジタルドリルなどを活用することが有効で効果的だと言われています。本校では、このような考え方の下に学級担任が判断して課題に取り組ませています。

**※基礎基本の定着、記憶する→アナログ(紙)学習**

**※定着しているか確認、習熟を図る→デジタルによる学習**



# 【土曜授業】9月土曜授業の「パワーアップタイム」 2022年09月10日

できるようにしたこと(③以外)  
↓  
タブレットドリル 図形の角

漢字テスト  
↓  
やり直し  
↓  
タブレット問題  
(対称のため)

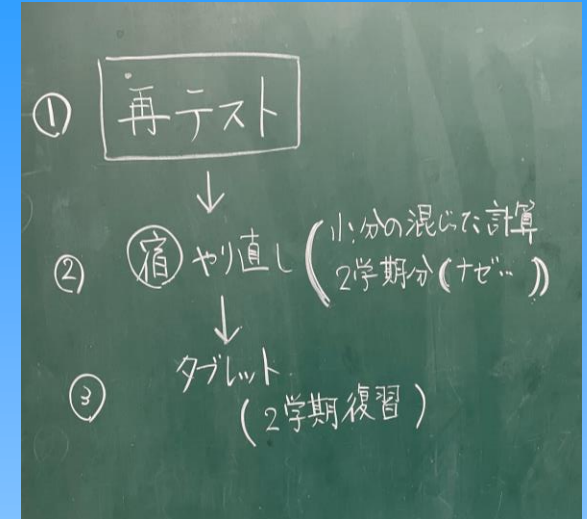
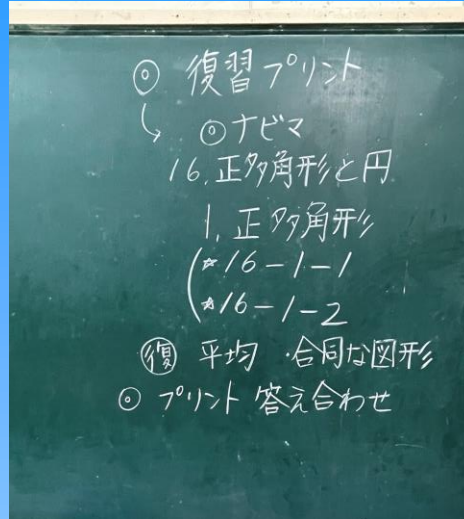
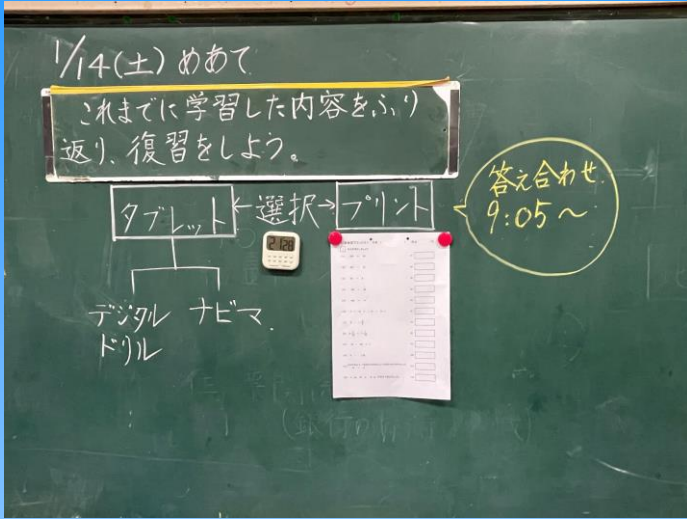
(パワーアップタイム)  
・1学期の復習  
(終わっていないところ)  
(苦手なところ)  
・対称  
※タブレットドリル  
NAVIMA





# 【土曜授業】1月土曜授業の「パワーアップタイム」

## 2022年01月14日



**【テスト結果】→再度基礎基本の定着化→【デジタルドリル】定着の確認・習熟**





# 2022年度実践

## 【補充指導編】

学級閉鎖に伴うオンライン補充指導

Microsoft Teams及び

ロイロノートの活用

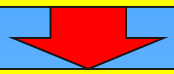
◆12月21日(水)～23日(金)5の2  
鹿児島島学習定着度調査過去問

# 学級閉鎖時のタブレット端末を持ち帰っての オンライン補充指導

2022年12月21,22日



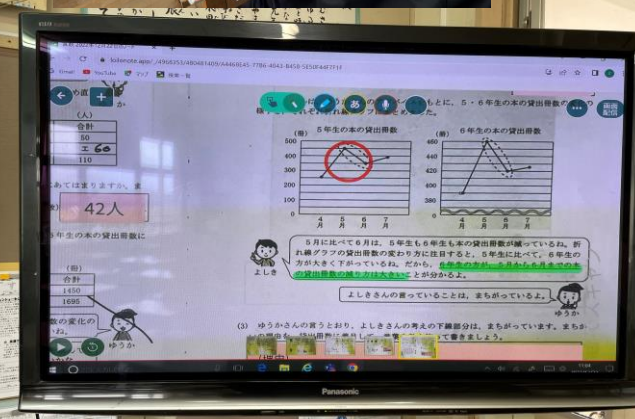
緊急の持ち帰りのため担任とICT担当の2人体制で対応。ID、パスワードの接続をサポート



2時間1教科で時間割を組んで学習課題用のプリントを送信



ロイノートで学習課題を送受信して、Microsoft teamsで解説



オンライン授業 (理科)

理科の対策プリントをする。

対策プリント (12月21日)

【注意】

- ・会議には入ったままにしておきましょう (基本的には、カメラとマイクはオフ)
- ・早く終わった人は、タブレットドリルやナビマブレイクラムタイプングやプログラミング (ブロックゲーム)、NHKforSchoolの動画を見るなどしておきましょう。

- ① 自分の力で最後まで解く。
- ② 教科書やノート等を見えわからなかったところや自信のないところを解きなおす。
- ③ 11:30から答え合わせ

※質問などがあるときは、マイクをオンにして発言してもよいですが、全員に聞こえることを確認してください。